

平成25年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社メディサイエンスプランニング

コード番号 2182 URL <http://www.mpi-cro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦江 明憲

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部副本部長 兼経理部長 (氏名) 瓦谷 純一

TEL 03-5820-7071

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第1四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	1,698	△15.9	8	△97.7	3	△98.9	△2	—
24年8月期第1四半期	2,020	27.9	354	—	331	960.9	178	—

(注) 包括利益 25年8月期第1四半期 △2百万円 (—%) 24年8月期第1四半期 179百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第1四半期	△0.96	—
24年8月期第1四半期	68.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第1四半期	4,237	1,655	39.1
24年8月期	3,961	1,825	46.1

(参考) 自己資本 25年8月期第1四半期 1,655百万円 24年8月期 1,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年8月期	—				
25年8月期(予想)		20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,762	△7.3	171	△73.3	154	△74.6	82	△73.8	31.57
通期	9,000	14.7	1,080	37.6	1,047	45.4	614	77.7	236.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期1Q	2,597,600 株	24年8月期	2,597,600 株
② 期末自己株式数	25年8月期1Q	50,000 株	24年8月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期1Q	2,583,314 株	24年8月期1Q	2,597,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
4. 補足情報	9
(1) 受注実績	9
(2) 販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景として、弱い動きで推移しております。

医薬品業界におきましては、薬価基準の引き下げや主力製品の特許切れに加え、新薬の承認基準の厳格化や医療制度の見直しが進む等、厳しい事業環境が継続しております。こうした中で、製薬会社はパイプラインの充実や経営資源の集中による迅速な新薬開発力の強化を進めております。当社グループの属するCRO業界及びCSO業界におきましては、製薬会社のアウトソーシング志向を背景として市場規模は緩やかに拡大を続けております。近年、既存企業の規模拡大やM&Aによる業界再編が進んだ結果、CRO各社の競争は激化しておりますが、受注環境は改善しております。

このような環境のもと、当社グループは、今期(31期)を最終年度とする中期経営計画「アクションプラン30 plus one」の達成に向けて、中核業務であるモニタリング業務の強化、CSO業務や安全性情報を扱うファーマコヴィジランス業務の拡大、グループ内での連携等に取り組んでおります。これらにより、中期経営計画の柱である「強い組織の育成」、「明確な差別化」、「次世代へ向けての準備」について着実に計画を推進しつつあります。

当第1四半期連結累計期間につきましては、前連結会計年度末にプロジェクトの切り替えが複数発生したこと及び切り替え後のプロジェクトの開始が一部中止及び遅延したこと等の影響により、高稼働であった前年同期に比べ、若干稼働率が低下した状況にありました。また、開始直後の案件が例年に比べ多く、売上に対しコストが先行する形となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移し、売上高1,698,738千円(前年同期比15.9%減)、営業利益8,101千円(同97.7%減)、経常利益3,796千円(同98.9%減)、四半期純損失2,482千円(前年同期は178,308千円の四半期純利益)となりました。

なお、当社グループは、前連結会計年度末においては、CRO事業の単一セグメントでありましたが、当第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を見直し、従来の単一セグメントから「CRO事業」、「CSO事業」に変更しており、前年同期比較に当たっては、前年同期を変更後の区分に組み替えて行っております。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① CRO事業

当事業におきましては、主力のモニタリング業務において新規プロジェクトの受注が順調に推移し、それに伴い受注残高が大幅に増加した一方、上記のとおり、複数のプロジェクトの切り替えに際し、切り替え後のプロジェクトの開始が一部中止及び遅延したこと等の影響により、売上高は1,458,751千円(前年同期比18.6%減)、営業利益は245,815千円(前年同期比57.8%減)となりました。

② CSO事業

当事業におきましては、積極的な営業活動と人材の確保が堅調に推移したことにより、売上高は239,987千円(前年同期比5.0%増)となりましたが、人材の確保に伴う経費の増加等の影響により、営業利益は18,027千円(前年同期比34.0%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ419,495千円減少し、2,863,656千円となりました。これは、主として関係会社株式の取得や自己株式の取得等による現金及び預金の減少468,844千円等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ695,721千円増加し、1,373,593千円となりました。これは、主として関係会社株式の増加659,579千円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ276,225千円増加し、4,237,249千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ94,607千円増加し、1,436,038千円となりました。これは、未払法人税等の減少214,657千円等があった一方で、1年内返済予定の長期借入金の増加100,000千円や未払費用の増加261,534千円等があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ351,591千円増加し、1,145,514千円となりました。これは、主として長期借入金の増加340,000千円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ446,199千円増加し、2,581,552千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ169,973千円減少し、1,655,697千円となりました。これは、剰余金の配当51,952千円及び自己株式の取得115,500千円等による株主資本の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年10月12日の「平成24年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,605,272	1,136,428
受取手形及び売掛金	1,008,339	932,609
仕掛品	396,486	540,359
貯蔵品	625	379
その他	272,427	253,879
流動資産合計	3,283,152	2,863,656
固定資産		
有形固定資産	81,428	117,842
無形固定資産		
のれん	73,945	65,170
その他	47,042	44,668
無形固定資産合計	120,987	109,839
投資その他の資産		
関係会社株式	102,484	762,063
その他	372,971	383,848
投資その他の資産合計	475,455	1,145,911
固定資産合計	677,871	1,373,593
資産合計	3,961,023	4,237,249
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	224,406	9,749
賞与引当金	261,156	137,000
受注損失引当金	631	11,596
その他	855,235	1,277,691
流動負債合計	1,341,430	1,436,038
固定負債		
長期借入金	415,000	755,000
退職給付引当金	299,626	305,701
役員退職慰労引当金	53,241	57,199
その他	26,054	27,613
固定負債合計	793,922	1,145,514
負債合計	2,135,352	2,581,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	361,520	361,520
資本剰余金	261,081	261,081
利益剰余金	1,203,030	1,148,596
自己株式	—	△115,500
株主資本合計	1,825,631	1,655,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	—
その他の包括利益累計額合計	39	—
純資産合計	1,825,670	1,655,697
負債純資産合計	3,961,023	4,237,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
売上高	2,020,801	1,698,738
売上原価	1,342,984	1,339,332
売上総利益	677,816	359,405
販売費及び一般管理費	322,902	351,304
営業利益	354,914	8,101
営業外収益		
受取利息	42	1
為替差益	—	570
その他	63	294
営業外収益合計	105	866
営業外費用		
支払利息	2,211	1,910
持分法による投資損失	19,191	2,889
その他	1,688	370
営業外費用合計	23,091	5,170
経常利益	331,928	3,796
特別損失		
固定資産除却損	—	326
特別損失合計	—	326
税金等調整前四半期純利益	331,928	3,470
法人税等	153,620	5,952
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	178,308	△2,482
四半期純利益又は四半期純損失(△)	178,308	△2,482

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	178,308	△2,482
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	1,238	△39
その他の包括利益合計	1,238	△39
四半期包括利益	179,546	△2,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,546	△2,521
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年10月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、当該取得を実施いたしました。

取得した株式の種類	普通株式
取得した株式の総数	50,000株
取得価額の総額	115,500千円
取得日(約定日)	平成24年10月31日
取得方法	大阪証券取引所の立会外取引(J-NET市場)における自己株式取得取引

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

当社グループは、CRO事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	CRO事業	CSO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,458,751	239,987	1,698,738	—	1,698,738
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,458,751	239,987	1,698,738	—	1,698,738
セグメント利益	245,815	18,027	263,842	△255,741	8,101

(注) 1 セグメント利益の調整額△255,741千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度末においては、CRO事業の単一セグメントでありましたが、当第1四半期連結会計期間よりセグメント情報の区分を見直し、従来の単一セグメントから「CRO事業」、「CSO事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間における報告セグメントに基づき作成すると次のとおりになります。

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	CRO事業	CSO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,792,331	228,470	2,020,801	—	2,020,801
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,792,331	228,470	2,020,801	—	2,020,801
セグメント利益	582,497	27,299	609,796	△254,882	354,914

(注) 1 セグメント利益の調整額△254,882千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注実績

事業の業務別の内容	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比 (%)	受注残高(千円)	前年同期比 (%)
CRO事業				
モニタリング業務	3,521,077	198.3	8,844,683	159.6
データマネジメント業務	143,653	89.2	483,268	118.0
ファーマコヴィジランス業務	197,719	147.2	183,715	266.4
その他業務	28,049	126.0	75,218	162.7
CRO事業計	3,890,499	185.9	9,586,885	158.1
CSO事業	63,936	22.4	456,917	95.9
合計	3,954,435	166.3	10,043,803	153.5

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

事業の業務別の内容	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
CRO事業		
モニタリング業務	1,205,414	78.8
データマネジメント業務	62,864	90.1
ファーマコヴィジランス業務	157,426	103.9
その他業務	33,045	78.6
CRO事業計	1,458,751	81.4
CSO事業	239,987	105.0
合計	1,698,738	84.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(ご参考)

当社は、現在、契約締結済みの案件のみを受注高及び受注残高として計上しておりますが、次期以降、より実態に即した受注の状況を示すことを目的に、計上基準を変更し、従来の計上基準に発注書受領済み案件等を加えた計上方法に変更する予定であります。

変更後の計上方法により算定した、当第1四半期連結累計期間における受注高及び受注残高は、以下のとおりであります。

事業の業務別の内容	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)
CRO事業		
モニタリング業務	3,521,077	8,844,683
データマネジメント業務	143,653	483,268
ファーマコヴィジランス業務	449,204	435,200
その他業務	28,049	75,218
CRO事業計	4,141,985	9,838,371
CSO事業	63,936	456,917
合計	4,205,921	10,295,288

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。